

出願に欠かせない、英語力の証明とエッセイの準備

## 英語の検定試験・エッセイ対策

### 受けるべき英語の検定試験

海外の大学等への進学を目指すためには、どのような英語の検定試験を受けるべきでしょうか。海外の大学の Web サイトには、スコアを受け付ける多くの試験が掲載されていて、迷うこともあるでしょう。

ここでは認定される大学や機関の数が多い、以下の2つの試験について、解説します。

■ TOEFL®

■ IELTS™

### TOEFL®とは

TOEFL は Test of English as a Foreign Language の略称です。世界 160 カ国以上、11,500 以上の大学・大学院やその他の機関で英語力の証明に活用されています。

通常は TOEFL iBT® (全セクションをコンピューター上で解答する試験)を受験します。

#### 【TOEFL iBT® 試験概要】

セクション	Reading, Listening, Speaking, Writingの4セクション
テスト時間	約2時間(2023年7月26日以降)
スコア	0-120 (各セクション0-30)

※このほか、団体向け試験の TOEFL ITP®もあります。

### TOEFL®試験対策

● 試験の概要説明や無料練習テスト等



[https://www.toefl-ibt.jp/test\\_takers/toefl\\_ibt/2hours/](https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/toefl_ibt/2hours/)

## ■TOEFL® 試験申し込み

公式 Web サイトから申し込みます。身分証明書を用意したり、アカウントを作成したりする必要があるため、時間に余裕をもって申し込みましょう。



[https://www.toefl-ibt.jp/test\\_takers/toefl\\_ibt/register.html](https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/toefl_ibt/register.html)

## ■IELTS™とは

IELTS™とは、International English Language Testing System の略称です。イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、アメリカ、EU 諸国等、11,000 以上の機関が英語力の認定に使用しています。またそれらの国々の大学でも入学申請時の英語力の基準として多く採用されています。

高校生が海外の大学進学のために受験する場合、IELTS™ Academic (アイエルトツ アカデミック) を受験します。

IELTS™ General Training (アイエルトツ ジェネラル・トレーニング) という試験もありますが、こちらは海外への移住や就労を考えている人のための試験です。

海外の大学を目指すためには、必ず IELTS Academic (アイエルトツ アカデミック) を選んで下さい。

### 【IELTS™ Academic 試験概要】

セクション	Reading, Listening, Speaking, Writingの4セクション。 スピーキングは他のテストと同日、または前後6日以内に行われる。
(留学先にイギリスを希望する場合)	(ビザ申請のためにIELTSのスコアが必要になる場合があるため、IELTSの受験が推奨される)
テスト時間	約2時間45分
スコア	0-9.0 (4セクションの平均値=オーバーオールスコアと各セクションのスコアがある)
種類	IELTSペーパー版とIELTSコンピューター版がある

## ■IELTS™試験対策

- 公式無料オンライン トレーニング等



<https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts/prepare>

## ■IELTS™試験申し込み

公式 Web サイトからペーパー版かコンピューター版かを選び、申し込みます。受験にはパスポートの写真ページが必要となるため、持っていない人は、まずはパスポートの申請からスタートしましょう。



<https://www.eiken.or.jp/ielts/>

## ■各試験のレベルの目安

高校生は「英検の受験経験はあるが、TOEFL®や IELTS™は受けたことがない」という人が多いかもしれません。以下の記事で英検を含めた英語試験のレベルの対照表を掲載しているので、参考にして下さい。



<https://global-edu.tokyo/cms/wp-content/uploads/2023/06/6ea7d5e6ff5f4f867d40191efef5de00.pdf>

## ■エッセイとは

海外の大学を目指す際、提出書類として課されることが多いものの1つがエッセイです。日本のように決められた日に受験する入試がなく、総合的な評価を重視する海外の大学では、エッセイは志願者について大学側が評価する重要な要素となります。特に難関とされる大学への進学を目指す場合、エッセイは重要な位置付けとなっていることが多くあります。

## ■エッセイ対策

まずは、出願大学が求める学生像を調べましょう。出題傾向を理解した上で、自分が説得力をもって書けること、アピールしたいことは何かを考えましょう。

## エッセイの基本構成

どのようなテーマであっても、以下の3つのパートでエッセイを構成することが大切です。語数（ワード数）が決められているので、その制限内で問われている内容を適切な言葉で表現し、筋道を立てて論理的にまとめられるよう、仕上げていきます。

### 【エッセイの基本構成】

Introduction	トピックの提示。 次に続く内容に興味をもたせる導入部。
Body	Introduction で述べたことの具体的な事例をより裏付ける本文。 全体が500文字程度の場合、3段落位で構成。
Conclusion	まとめ・結論。 Introductionの繰り返しにならないように注意。

自身でのスペルや文法のチェックはもちろんのこと、他の人にも読んでもらって内容についての感想やコメントをもらうことも大切です。そして必ず英語の先生やネイティブスピーカーのチェックをお願いして、納得できるエッセイを完成させましょう。